

## 編集後記

本号では、末次俊之氏による書評に加え、新山雄三客員所員、高橋清徳所員の論稿を掲載しています。文字通り珠玉の論稿で、学部学生の頃感じた、学問に接することの新鮮な喜びが蘇ってくるようでした。改めて本研究所の水準の高さを実感した次第です。

なお、本編集後記は事務局員を仰せつかった伊藤（雄）が担当しております（実際の編集はほとんど田邊前事務局長）。もとより弁当の番をするくらいしか役に立てそうにありませんが、今後ともよろしく願いいたします。

（伊藤雄司）